

小松大谷高の生徒有志10人が5日、写真共有アプリ「インスタグラム」など会員制交流サイト(SNS)を活用し、小松市内の名所や名物を発信する活動を始めた。2023年春の北陸新幹線敦賀延伸に向け、小松の「絵になる場所」を探



して紹介し、誘客につなげる。活動初日は、発信テーマを「粟津温泉」と「おしゃれなカフェ」に決め、どのSNSを活用していくかなどを話し合った。

小松の魅力発信について話し合う生徒 小松大谷高

## 温泉やカフェ、SNSで

# 絵になる小松 探せ!

## 小松大谷高有志 魅力を世界で紹介

活動を発案したのは2年生の高野玲佳さん。お旅まつりや九谷焼といったふるさとの伝統行事、文化、自然景観などを若い世代に魅力的に伝えたいと考え、校内で協力者を募ったところ、1年生9人が集まった。

同校で行われた5日の話し合いでは、生徒がテーマに沿って絵になる場所を探し、「恋人の聖地」に認定されている粟津温泉については、カップルで訪れて楽しいスポットを選んだ。外観やメニューが写真映えするカフェや、SNSへの投稿時に利用する検索の目印「ハッシュタグ」に続く言葉の内容についても意見を出し合った。

今後は実際に現地を訪れて写真を撮影するなどし、3月までに具体的な発信方法をまとめる。校内外で協力者を増やし、活動の輪を広げる考えだ。

活動は、高校生の地域活

性化などの取り組みを支持「で発表予定で、高野さんは「小松を世界に知ってバ(東京)が運営する「全国高校生マイプロジェクト」成長させたい」と話した。